

1. 科目名 (単位数)	英語基礎演習Ⅱ (文法・読解) (2単位)	3. 科目番号	EDEN1302
2. 授業担当教員	別府 結起		
4. 授業形態	演習 (ペアワーク)、ディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	本講座の目標は、中学校及び高等学校における外国語科の授業に資する英語学的知見を身につけることにある。そのため英文法の基本的な事項を図式的にまた日本語の文法と比較しながら学習することで理解を深めていくことにまず焦点を置く。また、英文法の基本的な事項を学習して、英文を読む基礎を身につけるため、リーディング用の教材が用意されている。この講読作業の中で、英語学とりわけ英語の英文法のほかに音声の仕組み・英語の歴史の変遷と国際共通語としての英語の実態を学習し英語教員として必要な基礎的かつ総合的な英語学的知見を修得する。		
8. 学習目標	1. 英語の音声の仕組みについて理解している 2. 英語の文法について理解している 3. 英語の歴史の変遷及び国際共通語としての英語の実態について理解している		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	1. Students have to submit a report paper before the summer break. 2. Students have to submit the textbook at the end of the term.		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 授業内で配布する資料等を教材とする。 【参考書】 長谷川瑞穂編著『はじめての英語学 改訂版』研究社		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 ・英語の音声の仕組みについて理解できたか。 ・英語の基礎的な文法事項を理解できたか。 ・英語の歴史の変遷を踏まえ、国際共通語としての英語の実態について理解できたか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。] 1 授業態度 総合点の15% 2 試験 総合点の75% 3 宿題 総合点の10%		
12. 受講生への メッセージ	In this class, all the content of the class will be taught in English. In so doing, you learn how to guide school children by actually experiencing how English class would be taught. Your active participation is absolutely necessary.		
13. オフィスアワー	To be announced in the first class		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	本講座での扱う英語が国際共通語として位置づけられていることの実態を踏まえ理解した上で日本語との比較により英語の文法を意識的に理解する。	事前学習	シラバスと教科書の目次に目を通し授業内容について予測する。また国際共通語としての英語の特徴について自分なりに考えておく。
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる。特に本講座での到達目標が英語学的知見の修得と深く関連していることを確認しておく。
第2回	第1章「これって英語？」では、外来語は全て英語起源なのかについて学修する。和製英語・省略語・英語以外の言葉、誤解の元について学習し、各練習問題を解いてみる。以上の学修を通し英語の歴史の変遷と語彙の多様性の関係についても理解を深める。	事前学習	第1章の和製英語と外来語をノートにまとめておく。
		事後学習	第1章で既習した以外の和製英語と外来語について調べノートにまとめておく。授業で学んだ英語の歴史の変遷と語彙の多様性の関係について考察した内容についてもノートにまとめておく。
第3回	第2章「品詞ってなに？」では、品詞について学ぶ。品詞とその機能・句・品詞の兼用・文の成分について学習し、各練習問題を解いてみる。	事前学習	第2章の文法事項についてノートに書きだしておく。
		事後学習	第2章の文法事項に関する各練習問題を復習しておく。
第4回	第3章「ものごとには順序が」では、語順について学ぶ。自動詞/他動詞・他動詞における後続要素と語順について学習し、各練習問題を解いてみる。	事前学習	第3章の文法事項についてノートに書きだしておく。
		事後学習	第3章の文法事項に関する各練習問題を復習しておく。
第5回	第4章「てんとまる」では、句読点について学ぶ。ピリオド・コンマ・疑問符だけでなく、それ以外の句読点及び序数について学習し、各練習問題を解いてみる。 Quiz 1	事前学習	第4章の文法事項についてノートに書きだしておく。第3章までの復習確認テストQuiz 1の準備をする。
		事後学習	第4章の文法事項に関する各練習問題を復習しておく。
第6回	第5章「どんな音？」では、音を構成している要素(音素)・イントネーション・リズム・語強勢について学習し、各練習問題を解いてみる。	事前学習	第5章の英語の音声の特徴についてノートに書きだしておく。
		事後学習	第5章で学んだ英語の音声の仕組みと特徴について日本語の音声と比較しながらまとめておく。

第7回	第1回から第5回までの内容をまとめる。特に、国際共通語としての英語の特徴、音の仕組みと基本的文法事項について復習する。	事前学習	今まで学んだ文法事項と英語の音声の仕組みについて復習しておく。また国際共通語としての英語の特徴について自分の意見をまとめておく。
		事後学習	授業で復習した文法事項と英語の音声の仕組みについて国際共通語に至った英語の歴史の変遷に留意しながら再度まとめ直す。
第8回	第6章「ものには名前」では、名詞について、地名・名詞の数・人称代名詞について学ぶ。解説を熟読し、各練習問題を解いてみる。	事前学習	第6章の文法事項についてノートに書きだしておく。
		事後学習	第6章の文法事項に関する各練習問題を復習しておく。
第9回	第7章「数えてみれば」では、数字表記と単位について学ぶ。基数・序数・数量詞・単位について学習し、各練習問題を解いてみる	事前学習	第7章の文法事項についてノートに書きだしておく。
		事後学習	第7章の文法事項に関する各練習問題を復習しておく。
第10回	第8章「ムードはありますか」では、文のムード(法)について学ぶ。直接法・命令文・感嘆文について学習し、各練習問題を解いてみる。 Quiz2	事前学習	第8章の文法事項についてノートに書きだしておく。第7章までの復習確認テストQuiz2の準備をする。
		事後学習	第8章の文法事項に関する各練習問題を復習しておく。
第11回	第9章「時よ止まれ」では、時制と相について学ぶ。時制・相・進行形・完了形について学習し、各練習問題を解いてみる。	事前学習	第9章の文法事項についてノートに書きだしておく。
		事後学習	第9章の文法事項に関する各練習問題を復習しておく。
第12回	第10章「白黒はっきりさせましょう」では、形容詞と副詞について学ぶ。形容詞・副詞の意味と使用、品詞転換(派生)、文副詞について学習し、各練習問題を解いてみる。	事前学習	第10章の文法事項についてノートに書きだしておく。
		事後学習	第10章の文法事項に関する各練習問題を復習しておく。
第13回	第12章「英単語にも偏や旁がある？」では、接頭辞と接尾辞について学ぶ。語の成り立ち・接頭辞・接尾辞・外来語について学習し、各練習問題を解いてみる。	事前学習	第12章の文法事項についてノートに書きだしておく。
		事後学習	第12章の文法事項に関する各練習問題を復習しておく。
第14回	第6章から第10章と第12章で学んだ内容を踏まえ国際共通語としての英語の文法について理解を深める。また既習した英語の音声の仕組みと英語の文法について英語の歴史の変遷と関連付けながら理解を深める。	事前学習	第6章から第10章と第12章の内容を復習しながら国際共通語としての英語の特徴について文法面から主に考察しておく。
		事後学習	授業で学んだ英語の歴史の変遷と英語の文法と音声の仕組みの関係についてノートにまとめておく。
第15回	今まで既習した内容を踏まえ日英比較から浮上する英語の文法や音声の特徴を国際共通語としての英語教育に活用する方法について考察することで英語学的知見を深める。 Quiz3	事前学習	今まで既習した内容を3つの到達目標に留意しながら総復習しておく。
		事後学習	日英比較からわかる英語の文法の特徴、音声の仕組みは理解できたか確認する。また国際共通語としての英語教育への応用について自分なりの意見をまとめておく。以上を踏まえ乍ら期末試験に備える。第12章までの復習確認テストQuiz3の準備をする。